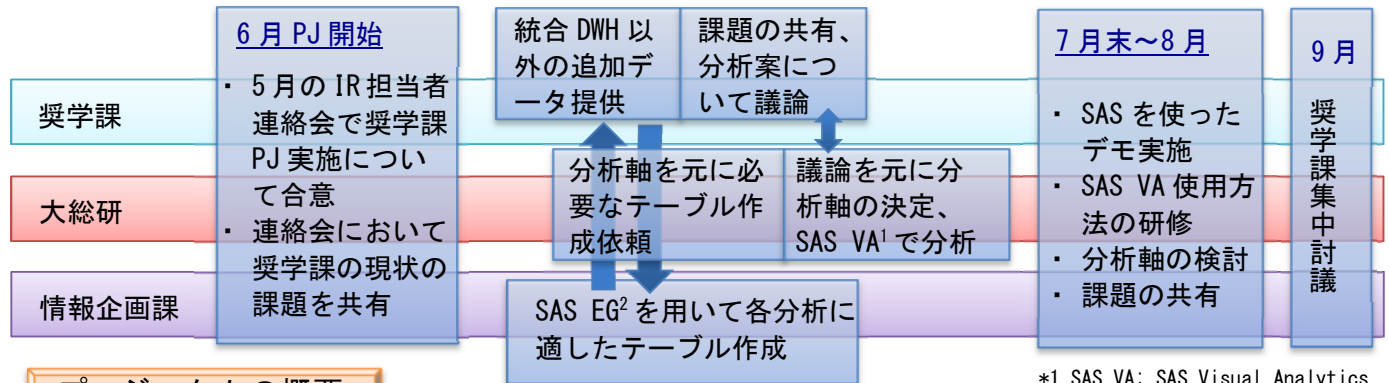


# 奨学課×大学総合研究センターIRプロジェクト実施報告

## -早稲田大学の奨学金施策の現状と今後の課題-IR データ視点の検討-

2016/09 報告者 助手 姉川 恭子

### 奨学課×大総研 IR プロジェクトの流れ



\*1 SAS VA: SAS Visual Analytics  
\*2 SAS EG: SAS Enterprise Guide

当プロジェクトは、大学総合研究センターが初めて他箇所と協働して行ったIRの取り組みで、5月のIR担当者連絡会を皮切りに、約3ヶ月間、奨学課や情報企画課と協力し、奨学課夏季集中討議での検討を目標に進めてきました。元々奨学課内では、「めざせ！都の西北奨学金」受給者の都道府県別採用人数を集計したり、大隈記念奨学金の採用条件についてデータを元に検証するなど、普段からエビデンスに基づく業務改善意識が高く、6月初旬のヒアリングにおいて、いくつかの明確な課題が共有された所から始まりました。

今回の主な目的は、SAS VAを用いて、1. 大学の志願者・入学者データと奨学金志願者・採用者データを動的に確認すること、2. 「めざせ！都の西北奨学金」受給者の特性を分析すること、の2点です。これらを元にいくつかの分析軸を設定しながらプロジェクトは進められ、9月1日の奨学課集中討議では、データを元に「めざせ！都の西北奨学金」の効果や改善点の有無について議論が行われました。議論の中では、量的なデータ分析のみに留まることなく、奨学金支援の必要学生への面談フォローを積極的に行うなど質的な支援アプローチを行うことの必要性も共有されました。

プロジェクト運営上の課題として、今回は3ヶ月という限られた時間で手さぐりで試行錯誤しながら進めざるを得なかったこと、データのクレンジング等に膨大な時間を要したこと等があげられ、次の取り組みに向けて、効率的な進め方について、引き続き検討していく必要があります。



SAS VAを用いた奨学課夏季集中討議の様子  
(2016. 9. 1. 於：学生部会議室)

